
1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Food Grade Oil C-7
供給者の会社名称、住所及び電話番号		
会社名	:	コベルコ・コンプレッサ株式会社
住所	:	〒108-8688 東京都港区高輪2丁目22-1 THE LINKPILLAR 2
緊急連絡電話番号	:	03-5739-5341
推奨用途及び使用上の制限		
推奨用途	:	潤滑剤
使用上の制限	:	専門的な使用者に限定。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類		
水生環境有害性 短期（急性）	:	区分 3
水生環境有害性 長期（慢性）	:	区分 3
GHS ラベル要素		
絵表示又はシンボル	:	なし
注意喚起語	:	なし
危険有害性情報	:	H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。
注意書き	:	安全対策: P273 環境への放出を避けること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	128-37-0	1
N-フェニル-1-ナフチルアミン	90-30-2	>= 0.25 - < 1
ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物	68411-46-1	>= 0.25 - < 1

4. 応急措置

- 一般的アドバイス：特別な応急措置が必要になる危害要因はない。
毒物コントロールセンターに連絡する。
- 吸入した場合：過熱や燃焼で発生した粉じんや煙霧を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
石けんと多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合：予防措置として、水で眼を洗浄する。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合：口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

-
- 症状 : 知られていないか予想されない症状。
健康への影響と症状の詳細については、セクション 11 を参照。
症状が現れたときは医師の診断を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救急救命士は自己防衛に努め、推奨されている防護服を着用すること
曝露の危険がある時は、個人用防護具に関する第 8 章を参照すること。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。
専門家のアドバイスを受けるためには、医師は毒物情報センターに連絡することが必要である。
症状に応じた治療を行う。
-

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末
砂
水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 一酸化炭素
二酸化炭素 (CO₂)
窒素酸化物 (NO_x)
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
適切な保護具を着用する。
-

- 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。
安全な場所に避難する。
関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。
- 環境に対する注意事項** : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
もれやこぼれがそれ以上起こらないようにする。
製品を排水施設に流してはならない。
漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材** : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
漏出区域から容器を移動する。
漏出物は廃水処理プラントにて処理するか、または以下の指示に従う。
漏出物を閉じ込め、不燃性吸収剤（例えば、砂、土、珪藻土、パーミキュライト）で吸収し、地域/国家の規則（項目 13 を参照）に従い廃棄するために容器に移す。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
排水溝下水道、地表水または地下水に流入させてはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防** : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項** : 食堂に入る前に汚染した衣服を脱ぎ、保護具を取り外す。
作業中は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。
適切な保護具を着用する。
本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。
- 接触回避** : 強酸と強酸化剤
- 衛生対策** : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。
元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション 10 を参照）および飲食物から離して保管する。

使用しない場合には容器を閉めておく。
 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。
 ラベルのない容器に保管してはならない。
 適切な方法を用いて封じ込め、環境汚染を防止する。

保管安定性に関する詳しい情報 : 推奨保管条件下では安定。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	128-37-0	TWA (吸入濃度および蒸気)	2 mg/m ³	ACGIH

設備対策 : 使用者の作業によって粉塵、ヒュームあるいは噴霧が発生する場合、換気装置を使用し、空中浮揚の汚染物質濃度を暴露限界以下に保つようにする。

保護具

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。
 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

ろ過式呼吸用保護具

手の保護具
材質

: ポリビニルアルコールまたはニトリルブチル製ゴム手袋

備考

: 手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。手袋は、はずす前に石けんと水できれいにする。手袋の透過に関する特徴の情報は、手袋の供給業者に依頼。

眼の保護具

: 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

	サイドシールド付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護服を着用する。 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。 不浸透性衣服
保護対策	: 特定の職場で保護措置を選定する際全ての適用される国内/ 地方自治体の要件に従ってください。 これらの勧告は供給された状態の製品に適用される。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 液体
物理状態	: 液体
色	: 透明
臭い	: 特徴的
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: データなし
沸点/ 沸騰範囲	: データなし
	データなし
可燃性 (液体)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限	: データなし
値	
爆発範囲の下限 / 可燃下限	: データなし
値	
引火点	: 238 ° C
自己発火性	: データなし

	: データなし
分解温度	: データなし
	: データなし
pH	: 非該当
蒸発速度	: データなし
	: データなし
燃焼価	: データなし
自然発火温度	: データなし
自己促進分解温度 (SADT)	: データなし
粘度	
粘度 (粘性率)	: 9.5 - 74 mPa.s (40 - 100 ° C) 方法: ASTM (米国試験材料協会) D 445
動粘度 (動粘性率)	: 68.3 mm ² /s (40 ° C)
溶解度	
水溶性	: データなし
	: データなし
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度 比重	: データなし
	: データなし
密度	: 0.842 g/cm ³ (15 ° C)
相対ガス密度	: データなし

爆発特性	: データなし データなし
酸化特性	: データなし データなし
自己発熱性化学品	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 推奨保管条件下では安定。
化学的安定性	: 製品は化学的に安定である。
危険有害反応可能性	: 指示通り使用すれば分解しない。
避けるべき条件	: 湿気への暴露。 汚染
混触危険物質	: 強酸と強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物 (NOx) 炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2, 930 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 401 GLP: 該当 アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。 備考: 試験時の投与量による死亡は認められない
急性毒性 (経皮)	: LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2, 000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402 GLP: 該当 アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

備考: 試験時の投与量による死亡は認められない

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オス): 1,625 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ, オス): > 5,000 mg/kg

ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
GLP: 非該当急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
GLP: 非該当

アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

備考: 試験時の投与量による死亡は認められない

皮膚腐食性/刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 6-ジ tert-ブチル-4-メチルフェノール:**種 : ウサギ
曝露時間 : 24 h
備考 : 軽度の皮膚刺激
(分類対象外)**N-フェニル-1-ナフチルアミン:**種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし
GLP : 非該当**ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:**種 : ウサギ
曝露時間 : 4 h
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 軽度の皮膚刺激
GLP : 非該当

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:**

種 : ウサギ
曝露時間 : 24 h
備考 : 軽度の眼刺激
(分類対象外)

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405
GLP : 非該当

ジフェニルアミンと2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405
GLP : 非該当

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:**

暴露の主経路 : 皮膚接触
種 : ヒト
結果 : 皮膚を過敏化させない。

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

試験タイプ : マキシマイゼーション試験
暴露の主経路 : 皮膚接触
種 : モルモット
方法 : OECD 試験ガイドライン 406
結果 : 製品は皮膚過敏化性である、副分類 1B。
GLP : 非該当

ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:

試験タイプ : マキシマイゼーション試験
 暴露の主経路 : 皮膚接触
 種 : モルモット
 方法 : OECD 試験ガイドライン 406
 結果 : 皮膚感作物質ではない
 GLP : 該当

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
 テストシステム: Salmonella typhimurium
 代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
 結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
 テストシステム: ラット肝細胞
 代謝活性化: (代謝活性化)
 結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
 テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞
 代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
 結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 染色体分析
 種: ラット (オス)
 細胞型: 骨髄
 投与経路: 経口
 結果: 陰性

試験タイプ: 小核試験
 種: マウス (オスおよびメス)
 細胞型: 骨髄
 投与経路: 腹腔内
 結果: 陰性

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
 テストシステム: Salmonella typhimurium
 代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
 方法: OECD 試験ガイドライン 471

結果: 陰性
GLP: 情報無し。

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性
GLP: 情報無し。

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
テストシステム: マウスリンパ腫細胞
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性
GLP: 情報無し。

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 優性致死試験
種: マウス (オス)
投与経路: 腹腔内
方法: OECD 試験ガイドライン 478
結果: 陰性
GLP: 情報無し。

ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 小核試験
テストシステム: 人間のリンパ球
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 487
結果: 陰性
GLP: 該当
備考: 構造類似物の試験結果

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性
GLP: 該当
備考: 構造類似物の試験結果

試験タイプ: Ames 試験
テストシステム: Salmonella typhimurium
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

GLP: 該当
備考: 構造類似物の試験結果

試験タイプ: Ames 試験
テストシステム: Escherichia coli
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性
GLP: 該当
備考: 構造類似物の試験結果

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
テストシステム: チャイニーズハムスター肺細胞
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性
GLP: 該当
備考: 構造類似物の試験結果

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 優性致死試験
種: マウス (オス)
投与経路: 経口
方法: OECD 試験ガイドライン 478
結果: 陰性
GLP: 非該当
備考: 構造類似物の試験結果

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

種 : ラット, オスおよびメス
投与経路 : 経口
NOAEL : 247 mg/kg bw/日
標的臓器 : 肝臓
GLP : 該当

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世世代試験
種: ラット, オスおよびメス

	投与経路: 経口 生殖力: NOAEL: 500 mg/kg 体重 GLP: 該当
胎児の発育への影響	: 試験タイプ: 二世世代試験 種: ラット, オスおよびメス 投与経路: 経口 母体の一般毒性: NOAEL: 100 mg/kg 体重 発生毒性: NOAEL: 100 mg/kg 体重 GLP: 該当
N-フェニル-1-ナフチルアミン:	
胎児の発育への影響	: 試験タイプ: 出生前 種: ラット, メス 投与経路: 経口 投与量: 15 - 50 - 150 ミリグラム / 1 キログラムあたり 母体の一般毒性: NOAEL: 50 mg/kg bw/日 発生毒性: NOAEL: 150 mg/kg bw/日 方法: OECD 試験ガイドライン 414 GLP: 該当
ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:	
妊娠に対する影響	: 試験タイプ: 受精能力 / 初期胚発生 種: ラット, オスおよびメス 投与経路: 経口 投与量: 25-75-225 ミリグラム / 1 キログラムあたり 一般毒性 親: NOAEL: 25 mg/kg bw/日 生殖力: NOEL: 225 mg/kg bw/日 方法: OECD 試験ガイドライン 422 結果: 生殖への影響はないことが動物実験で明らかになった。 GLP: 該当
胎児の発育への影響	: 試験タイプ: 受精卵および胎児発育 種: ウサギ, メス 投与経路: 経口 投与量: 10-30-100 ミリグラム / 1 キログラムあたり 母体の一般毒性: NOAEL: 30 mg/kg bw/日 催奇形性: NOAEL: 100 mg/kg bw/日 発生毒性: NOEL: 30 mg/kg bw/日 方法: OECD 試験ガイドライン 414 結果: 胚毒性と子孫への有害な影響は母体毒性量が高い場合にのみ判明した。 GLP: 該当
生殖毒性 - アセスメント	: 動物実験によると性的機能および繁殖力への悪影響があることが一部立証されている。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**N-フェニル-1-ナフチルアミン:**

暴露の主経路 : 経口
標的臓器 : 血液, 腎臓
アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分2に分類される。

反復投与毒性**成分:****2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:**

種 : ラット, オス
NOAEL : 25 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露回数 : 毎日
GLP : 該当
標的臓器 : 肝臓
症状 : 肝臓酵素の変更

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

種 : ラット, オスおよびメス
LOAEL : 5 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 90 d
曝露回数 : 毎日
投与量 : 5 - 25 - 125 mg/kg bw/日
方法 : OECD 試験ガイドライン 408
GLP : 該当
標的臓器 : 血液, 腎臓
アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分2に分類される。
備考 : 亜慢性毒性

ジフェニルアミンと2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:

種 : ラット, オスおよびメス
NOAEL : 25 mg/kg
投与経路 : 経口

曝露時間 : 28 d
曝露回数 : 毎日
投与量 : 25-75-225 mg/kg bw/d
方法 : OECD 試験ガイドライン 422
GLP : 該当
備考 : 亜急性毒性

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考 : 製品自体はテストされていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 0.57 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C.1
GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.48 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 0.4 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h
方法: 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C.3
GLP: 該当

最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 0.4 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h
方法: 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C.3
GLP: 該当

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oryzias latipes (オレンジレッドカダヤシ)): 0.053 mg/l
曝露時間: 42 d
方法: OECD 試験ガイドライン 210
GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.023 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 長期 (慢性))

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 10,000 mg/l
エンドポイント: 呼吸抑制
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209
GLP: 該当

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.44 mg/l
曝露時間: 96 h
分析モニタリング: 非該当
備考: 公称濃度

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.3 mg/l
に対する毒性 エンドポイント: 固定化
曝露時間: 48 h
分析モニタリング: 非該当
備考: 公称濃度

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.93 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 96 h
分析モニタリング: 非該当
備考: 公称濃度

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.032 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) エンドポイント: 生殖
曝露時間: 21 d
分析モニタリング: 非該当
方法: OECD 試験ガイドライン 211

GLP: 該当
備考: 公称濃度

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 10,000 mg/l
エンドポイント: 呼吸抑制
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209

ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l
エンドポイント: 死亡率
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 非該当
備考: 淡水
公称濃度

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 51 mg/l
エンドポイント: 固定化
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当
備考: 淡水
公称濃度

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 100 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
分析モニタリング: 非該当
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 非該当
備考: 淡水
公称濃度

最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 10 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h

試験タイプ: 止水式試験
分析モニタリング: 非該当
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 非該当
備考: 淡水
公称濃度

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EL10 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.69 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性)
エンドポイント: 生殖
曝露時間: 21 Days
試験タイプ: 半静止試験
分析モニタリング: 非該当
方法: OECD 試験ガイドライン 211
GLP: 該当
備考: 淡水
公称濃度
水抽出可能画分

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 100 mg/l
エンドポイント: 呼吸抑制
曝露時間: 3 h
試験タイプ: 止水式試験
分析モニタリング: 非該当
方法: OECD 試験ガイドライン 209
GLP: 非該当
備考: 淡水
公称濃度

残留性・分解性

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
生分解: 4.5 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301C

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
生分解: 0 %
曝露時間: 14 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301C

ジフェニルアミンと 2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:

生分解性 : 好気性

接種: 活性汚泥 (未馴化)
含有量: 20.1 mg/l
結果: 易分解性ではない。
生分解: 1 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B
GLP: 該当

生体蓄積性

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : > 2,000

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 5.1
(log 値) 方法: 測定

N-フェニル-1-ナフチルアミン:

生体蓄積性 : 種: Cyprinus carpio (コイ)
生物濃縮因子 (BCF) : >= 427
曝露時間: 56 d
方法: OECD 試験ガイドライン 305C

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 4.28
(log 値)

ジフェニルアミンと2, 4, 4-トリメチルペンテンの反応生成物:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 6.66 (23 ° C)
(log 値) pH: 6.67
方法: OECD 試験ガイドライン 123
GLP: 該当
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

土壤中の移動性

成分:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:

環境中の分布 : Koc: 14750, log Koc: 3.9 - 4.2
方法: 推定

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響**製品:**

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
水生生物に有害。
長期継続的影響によって水生生物に有害。
製品自体はテストされていない。
環境への放出を避けること。

成分:**2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール:**

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性 (PBT) であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性 (vPvB) であるとは見なされない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。
この物質と容器は、安全に処分する。
空容器は製品が残っている可能性がありますので、製品に対する全ての注意を守ってください。
漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装

: 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意**国際規制**

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

危険および取り扱い上の注意。
危険物に関する情報は要求時に提供される。

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第四石油類, (6000 リットル), 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	64

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
2, 6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	>=1 - <10	-
1-(N-フェニルアミノ)-ナフタレン	>=0.1 - <1	2025 年 4 月 1 日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
2, 6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	-

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023年4月1日から

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
2, 6-ジ-ターシャリー-ブチル-4-クレゾール	207	1.0

国際化学兵器禁止条約 (CWC) : 非該当
の有毒化学品および前駆体の
添付文章

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

水質汚濁防止法

指定物質 (法第2条4項、施行令第3条の3)

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）
非該当
特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）
非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシートに含まれるデータは、当社の現在の知識と経験に基づき、安全要件に関し
てのみ製品の説明を行っています。与えられた情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸
送、廃棄および放出のためのガイダンスとしてのみ設計されており、処理ガイダンスとは見なさ
れず、保証または品質仕様は含まれていません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連
しており、本文で指定されていない限り、他の物質と組み合わせたり、あるいは処理で使用され
た物質には有効ではない場合があります。製品の受領者には、所有権および既存の条例や法律遵守
を確認する責任があります。

旧版からの関連する変更点は、安全データシートの左側の適切な場所に黒い二重のバーで表示されています。